

## 医療事務科 3つのポリシー

### ディプロマポリシー(卒業までに身に付けるべき資質)

医療事務としての基礎的な知識・技術を持ち、チームの一員として良質な医療サービスに貢献できる人材を養成します。

1. 医療事務に必要とされる基礎的な知識・技術を身に付け、検定に合格する。
2. 産業界との連携により、職業人・業界人・医療人としての人間力を、また社会人としての身構え、気構え、心構えを身に付けている。
3. チームで働くうえで必要となるコミュニケーション能力を有し、医療現場のスタッフと協働できる能力を有している。
4. 自ら学ぶ姿勢と自己の課題を発見し、解決する力(能動的に取り組む力)を身に付けている。
5. 学内における様々な教育プログラムを通じて、社会人基礎力が培われている。

### カリキュラムポリシー(教育課程の編成、実施方針)

専門職業教育とキャリア教育を体系的に一体化した職業人教育カリキュラムを提供します。

1. 医療事務に必要とされる基礎知識・技術を身に付け、検定試験に合格するために理解しやすい授業を提供する。
2. 産学連携による実習を重視したカリキュラムとインターンシップを提供する。
3. インターンシップを通じて、実践的な学びと自ら課題を解決していくことを支援し、即戦力を養うカリキュラムを提供する。
4. 入学者ひとり一人の人的成長とキャリア設計を支援する。

### アドミッションポリシー(求める人材像)

医療事務科で学ぶことを強く望み、資格取得や専門就職に向けて、強い意欲を持って取り組むことのできる以下の人材を受け入れます。

1. 医療事務について職業理解があり、医療事務の学びや仕事に目的意識を持っている人。
2. 医療事務に必要な専門的知識と技術・態度を修得に意欲があり、社会に貢献することを目指す人
3. デュアル実習を中心に、1年間で集中して学び、就職をする意欲がある人。